# 日本に羽ばたくか？千春

十一月十六日の日本テレビの歌番組「ザ・ベストテン」で、ローカル歌手松山千春にとつて意外な場面が展開したものです。

☆　★

久米アナウンサー　じゃあさて、いよいよ行きましようか
黒柳アシスタント　おねがいします、
久米　ザ・ベストテン今週の第一位／さて一位です
黒柳　アッ／アー
久米　「季節の中で」松山千春、九千五百九十九点（曲が流れる）エー松山さんなのですが大変残念なのですが今夜スタジオにおこしいただけません
黒柳　まアーせつかく一位なのに本当に残念ですこと
久米　エースタジオにおこしいただけなくて大変に残念なのですが、エーひとつ黒柳さん、松山さんを呼んでもらえますか
黒柳　お名前を…松山さーん
松山　はい
黒柳　アー松山千春さんですか
千春　はい、そうです
黒柳　あのう私黒柳徹子ですけど
千春　はじめまして松山千春です
黒柳　はじめまして、まあー、あなた今どこにいらつやるのですか
千春　エーと今、北海道の旭川市の市民文化会館です
黒柳　まあー本当にあたなが出て下さるというのでファンの皆さんもどんなに喜こんでいらつしやるか解らない、本当にありがとうございました
久米　ありがとうございます
千春　いいえとんでもないです
黒柳　そしてあのねテレビに初めてお出になるのにベストテンに出て下さつて私達もファンの皆様といつしよにとつても嬉しく思つております
千春　はい
黒柳　それじゃあのうどうぞ宜しくお願いします
千春　はいどうもすみません
黒柳　どうぞ
千春　あのーこうやつていきなりテレビに出てきてネ、みんなビックリしてンじゃないかなと思うんだけど、毎週毎週ネ久米さんや黒柳さんに迷惑かけるのもなんだしそれじゃあ直接オレが出てネ、みんなにわかつてもらおうと思つて今日こうやつてでてきたんだけどネ、オレ歌うつてとつても好きなわけ、この会場今は誰もいないけどさきまでみんながいてオレが歌つてみんなが拍手してくれてときには大声で笑つたりなンかしてそんなコンサートつていうのはオレ大好きなわけ、これからもずつと大切にしていきたい、そういうふうに思つてるわけ　みんなが目の前にいてオレが歌う　そんな中でオレの歌がはじめて生きるんじゃないかつて、はじめてオレが心の中を歌えるんじゃないかつて思うわけ、だからテレビに出ないで一カ所でも多くみんなの所に行つてみんなの前でオレは歌いたいわけ、それをみんなにわかつてもらいたかつたこの番組とつてもいい番組だな、オレおもしろいし毎週みてるよ、多分うちのおつかやおやじもみてると思う、そして今度オレがみんなのおかげで一位だつて…うれしいよ本当、ありがとう、そしてみんなご苦労さん、毎週毎週はつちやきになつてハガキ書いてくれたんだろう、本当ありがとう二十円だつてばかにならないもんな、本当にみんなの根性には頭さがるよ、けどネわるいけどこうやつてオレがテレビに出るのこれが最初で最後だつて思つてほしい、オレやつぱりさ、カメラの前で歌うのつてさびしいよ、とつてもつらいよだからこれが最後になるつて思つてほしい、ゴメンナ、けどこれがオレのやり方なんだ、北海道もう寒くつてナ／けどみんなもかぜなんかひかないように、毎日頑張つてほしい、オレはオレのやり方でこれからも頑張る、じゃあ歌います

ここで「季節の中で」を歌いました。

★　☆

この「ザ・ベストテン」のなかで千春が十一位から五位になり三位にあがるにつれて、日本テレビから出演交渉がはげしくなり、足寄の自宅へも『お父さんが反対しているので出してもらえないのですか』とまでいわれたので、スタジオへはいけないから公演先の旭川から現場中継することになり、そこで千春が出演しないことをコメントすることを条件にして登場したものです。

★　★

ところが二十三日のその番組では、二位の沢田研二の八千五百六十九点を抜いて千春が九千五百五十六点でまた一位となりました。

久米アナウンサー　先週は松山さんに初出演して頂き、テレビ出演についての松山さん自身のお考えを話されたので、今週はスタジオにはいらつしやいません
黒柳アシスタント　お出になつたということで沢山のお電話やお手紙を頂いたんですけど、そのなかからひとつ読ませて頂きます、松山さんにもきいて頂きたいし、ファンのみなさんにもわかつて頂けるのじゃないかと思います『毎週楽しく拝見させて頂いています十一月十六日のは最高でした、千春が出たことすごく感激しております、千春が出てきたとき私は恥しながら涙が出ました、千春を画面で見ただけで胸が一杯になりました、千春がこれが最初で最後だといつたときなんともいえないものが心を秘めました、この人は自分の本当の道を歩いているんだ、この道を変えさせることはだれにもできないんだなあ、オーイング・マイウエイだなあと思いました　千春がテレビに出てほしいファンと出てほしくないファンといろいろいると思うけど、どちらにもいえることは千春が好きということと思います、どちらとも仲よくして頂きたいと思います、お願いがあります、彼に言つて下さい、あなたの歌、やはりなんどきいても本当にいい歌です、あなたという人を知つて本当によかつた、ありがとう、松山千春さま』このほか沢山のお手紙を頂戴しました、どうもありがとう
久米　われわれとしては松山さんがまたもしテレビに出られるのならお待ちしています
黒柳　本当にぜひおあいしたいと思います

★　☆

HNKでは二十三日のラジオ周波数の変更を記念して、全国の放送局を動員して午後〇時十五分から夕刻まで「全国ヒットチャートしあなたが選ぶ今年の歌のベストテン」を展開、おなじみの山川静夫アナウンサーに芳村真理アシスタントの総合司会ですすめられましたが、午後二時近くになつて

山川　帯広の田中さん、千春さんのお父さんがいらつしやるんですつて一
田中アナ　はい、千春さんも札幌のどこかでおききになつていると思うんですが、お父さんの声も千春さん待つていらつしやると思うんですが一お父さんですか、田中でございますが一
松山　松山明です
田中　千春さんにひとこと呼びかけて下さい
松山　千春、母さんよくなつたんで近く退院するので迎えにいくから一心配なのは千春だ、スポーツできたえたが、毎日飛行機で飛んで強行スケジュールだから、よく喰べてよく寝てガンバツてくれ
田中　そうですか、それからお父さん、沢山ファンの方か足寄の方へくるそうで、ファンのみなさんになにかひとこと一
松山　ファンとかなんとかいうよりお友達ですネ、千春は流行歌手ではなくローカル歌手なんで、アイドル歌手ではないんでありまして芸能人になつたつもりでおりませんから、みなさんの友達として先輩、後輩として応援して頂きます
田中　そうですか、お父さんどうもありがとうございました
松山　失礼しました
田中　山川さん、そういうことですネ、九州でおききの方も千春を友達と思つて可愛いがつてほしいと一
山川　芸能人と思つていないということで一
田中　最後にまだいいですか一帯広放送局から千春はデビューしたといつていいと思うんですが、デビュー前の貴重なテープを一生県命探しまして見つかりました、なつかしい千春の声をきいて下さい
山川　どうぞ
田中　（ギターの音とともに「足寄のスーパースター松山千春、ワンパターン勉強になるネー」これがデビュー前の千春さんの声なんです
山川　それだけしか残つてないんですか
芳村　チョツと残念ですネー
田中　これはFMリクエストアワーのなかで地元の方にきて頂いたときの歌なんです
山川　なるほどネー
芳村　それだけですか、前後をもつと探して頂いたら、ヒマのときゼヒ一
田中　ヒマなときにお送りいたします
芳村　ホントありがとうございました、千春さんの健斗を祈ります

★　★

そしてこの日午後四時近くになつてベストテンの全国集計が発表されました。

山川　世良公則とツイストが万辺なく票をあつめて一万五千八百五十二票を獲得して三位に入りました、つづいて才二位は「季節の中で」一万七千百七十五票でした、才一位の発表
芳村　最後の最後まで「季節の中で」と大デットヒートを展開してまさに花となつており、松山千春さんも「一万ボルトの瞳」に偉力が足りなかつたようです一万七千三百四十二票

とベストスリーの発表があつてから、午後六時すぎから入賞各歌手とのインタビューとなり

山川　モシモシ松山さん
千春　はい
山川　どうもお忙しいところを一
千春　いいえとんでもない
山川　あなたはテレビはお好きじゃない
千春　好きじゃないつてわけじゃないですけど一いま煮つまつてませんので一まだいいんじゃないだろうかと一
山川　なるほど、なるほど、やがて将来はですネ、堂々とテレビにも出るということ一
千春　そうですネ、勉強でもして出ようと思つています
山川　そうですか、今日は「これがラジオだ」という番組ですからラジオでお声がきけて幸せだと思います、お父さんも応援してくれたんですヨ
千春　おやじですか
山川　才二位というのはどうですか
千春　うれしいですネ
山川　ねえ、全国のヒットチャートですからネ、これからもガンバツて下さいネ、からだに気をつけて
千春　はい、山川さんも芳村さんもガンバツて下さい
芳村　ありがとうございます、結構、割にチャンとネ、なんというのか、本当千春さんに一度お目にかかりたいわ、私情をまじえてすみません

★　★

「季節の中で」のヒットはテレビのコマーシャルに助けられた一面もありますが、LPの全国売上げ五十曲のなかで「歩き続ける時」が依然才一位を占め「君のために作った歌」が十位台に、「こんな夜は」が二十位台に上昇していることで、やがて日本の千春に羽ばたくかもしれません

## お知らせ

この新聞は千春を理解し応援して下さる方々のために特集号として発行していますので、才八五五号の次が才八五六号とならない場合もあります。

このごろはほとんど千春は強行スケジュールで不在勝ちですが、それでも毎日のようにファンの方々が来訪されますし（こちらはなにも迷惑とは考えません、千春を大切にしてくれる方は大切にすべきです）六十三才ともなるとこまかい活字相手の仕事なので、ローカル新聞のほかに千春特集号の発行は月に一回ということになるかもしれません

## 新規購読の方へ

この特集号を新たに購読ご希望の方は、一カ年送料とも二千円ですので、郵便番号〇八九一三七、北海道足寄郡足寄町、とかち新聞社へお申込み下さい、現金書留でもよいのですが、三百五十円もかかりますので郵便局で定額小為替を求められれば二十円ですみますので、それを同封して申込まれるのがお徳用です。

## 千春の写真など

ご希望の多い「千春イン足寄」の写真は、大型カラーは十枚一組二千円、普通型白黒十枚一組五百円でおわけしています、両方とも内容は違います、なお、千春の中学、高校時代や日常やステージ場面など十枚一組一千円でおわけします。